

|  |                      |             |                               |
|--|----------------------|-------------|-------------------------------|
| 授業科目名：<br>公共哲学   | 教員の免許状取得のための<br>選択科目 | 単位数：<br>2単位 | 担当教員名：<br>山脇直司<br>担当形態：<br>単独 |
| 実務内容<br>(実務家教員の場合)   |                      |             |                               |
| 科 目  | 教科及び教科の指導法に関する科目     |             |                               |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等  | 教科に関する専門的事項          |             |                               |
| 「学位授与の方針」との関係<br>該当なし  |                      |             |                               |
| <p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>公共哲学とは、「市民的な連帯や共感、批判的な相互の討論にもとづいて公共性の蘇生をめざし、学際的な観点に立って、人々に社会的な活動の参加や貢献を呼びかけようとする実践的哲学（『広辞苑』第7版）」ないし「より善き公正な社会を追究しつつ、現下で起こっている緊急の公共的問題について当事者意識を持つ市民(the public)と共に論考する実践的哲学」（山脇直司）と定義できる。</p> <p>そのような学問のエキスを習得するために、公共哲学の人間観・社会観を把握した上で、倫理や福祉の意味や科学技術の目的などを考え直し、さらに平和の意味や関係修復などについて、理想と現実のギャップを超えて学んでいく。</p>   |                      |             |                               |
| <p>授業の概要</p> <p>シラバスに沿った形でのオンデマンドの授業とテキストで公共哲学のエキスを学び、その上で、学習指導書に記されたレポート課題を提出し、それが合格したら、科目修得試験を提出して可否を決定する。</p>   |                      |             |                               |
| <p>授業計画</p> <p>第1回：より善き公正な共生社会をめざす学問<br/> 第2回：滅私奉公と滅公奉私ないし活私滅公のライフスタイル<br/> 第3回：活私開公のライフスタイル<br/> 第4回：無私開公ないし滅私開公のライフスタイル<br/> 第5回：公共世界を成り立たせる義務倫理、徳倫理、公共的価値倫理<br/> 第6回：福祉と幸福（ウェルビーイング）<br/> 第7回：福祉と経済の関係を考える<br/> 第8回：科学・技術の進歩は人間を本当に幸福にしたかを考える<br/> 第9回：同上<br/> 第10回：平和の意味を深く考える<br/> 第11回：WA（和、輪）の公共哲学<br/> 第12回：正義について改めて考える<br/> 第13回：関係修復や罪と罰（償い）と赦しについて考える<br/> 第14回：理想主義と現実主義の二項対立を超える思考<br/> 第15回：現実（ある論）、理想（べき論、ありたい論）、政策（できる論）の統合</p> |                      |             |                               |
| スクーリングでの学修   |                      |             |                               |
| <p>テキスト</p> <p>山脇直司（2008年）『社会とどうかかわるか』岩波書店（ジュニア新書）、978-400500608<br/> 山脇直司（2011年）『公共哲学からの応答』筑摩書房、978-4480015327</p>  |                      |             |                               |
| <p>参考書・参考資料等</p> <p>山脇直司他（2019年）『共生社会の構築のために』星槎大学出版会、978-4774080086</p>  |                      |             |                               |
| <p>学生に対する評価</p> <p>レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）</p>   |                      |             |                               |